

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和5年7月2日(日)午後2時～3時30分  
場 所 福岡新田集会所  
参加者 36人



### 主な意見等

参加者 川越街道亀久保交差点、鶴ヶ舞付近の街路樹にイチョウ並木が植えられていて、時期が来ると銀杏が落ちて、それを拾っている人がいます。なぜメスを植えたのか、分かりませんが、匂いもあり閉口します。休日急患診療所とスギ薬局の間を南北に抜ける道にヤマモモの木があり、6月ごろになると真っ赤な実がなり、落ちて下を汚してしまいます。区画整理事業で行ったのだと思いますが、管理者はふじみ野市でしょうか。汚れるのが嫌で拾ってくれている人や実を取ってジャムを作っている人もいます。街路樹に実がなるものを植えるのはいかがなものでしょうか。

市長 イチョウ並木は道路管理者が違いますが、気になるところではあります。

2点目は、区画整理事業で植えたのではないかと思います。区画整理は、自らの土地も減歩して、公共の道路などを作っていただき、市に帰属していただいています。実がなるものはいかがなものかと思いますが、区画整理で作ったものは行政としても気を使わなくてはいけません。

道路管理者になって思うのだが、広い道路に植えられているケヤキのような大きな木も、歩道を持ち上げてしまったりするのでいかがなものか

のかと感じています。周りに影響を及ぼしている状況については、対応を図っていかねばならないと思っていますので、担当と検討をします。

参加者 5月からスズメバチ駆除の補助金交付が始まりました。それ以前の、平成4年6月から今年の1月までに33件のスズメバチ駆除があったとのことですが、なぜ5月から出すことにしたのか、また、33件の方にはどのように説明したのでしょうか。

市長 新しい制度を作ると、制度を作る前からやっていた方からそういう声が出てしまいます。本来、スズメバチの巣の撤去は、公的なお金ではなく、個人でご負担をしていただくものです。巣がある場所が、子ども達の通学路になっているなどの多くの声が出てきたため、補助をしながらスズメバチの巣の駆除をしていくこととなりました。この制度の前に駆除いただいた方には申し訳ないですが、33件を含めて制度以前の方には補助は出ません。

参加者 駅前などには結構な数の店舗の空き家があります。自分で事業を始めようとする場合、店舗を借りるための資金が負担になっています。空店舗を借りたくても空き店舗の情報が出ない上に、商工会に聞いてもいい返事がありません。5年前に参加した鶴ヶ島市の講演会では、シェアオフィスというものを聞きました。短い期間やどんな業種でも対応でき、申し込めば一定期間事業ができるものがあるようです。事業を始める場合は、資金的に苦しい部分もあるので、ふじみ野市でも空き店舗をシェアオフィスとして活用してもらえればと思います。

市長 空き店舗の活用として良い方法だと思います。創業支援のメニューや県の補助制度もあります。空き店舗対策は、一人一人の方にマッチングさせることなどが難しいと思います。起業しようとする方へ情報を集約してお伝えすることやシェアオフィスなども含めて、地元の商工会や産業振興課と検討していきたいと思います。

参加者 地域バスをよく使いますが、インターネットでバスの位置がわかるようになり便利になりました。南古谷駅などのふじみ野市以外にもバス

を伸ばしていただくと通勤や通学にも便利になり、付加価値が上がっていくのではないのでしょうか。

子どもが就職するためにほかの地域へ引っ越してしまいます。ふじみ野市で働いて近くで一緒に住めて、いつまでもここで過ごせたら良いなと思っています。そのための企業の誘致を進めていただきたいと思います。その場合は、交通量が増えると思いますが、そのための交通インフラの整備計画などはありますか。

市長 企業誘致は基本的に民間の開発で行っています。先ほどお話しした国道 254 バイパスの企業誘致も、税収確保や雇用の創出、調整池の建設を目的としており、行政として調整池の設置の部分の費用を負担していますが、残りは民間の開発事業者によって開発が行われます。そのため、交通インフラの整備は行政として考えるのではなく、民間企業側で考えていただきます。

ふじみん号を南古谷駅まで伸ばした場合、交通インフラが良くなって人口増加につながるという政策展開になると思います。しかしながら、市が実施している交通政策は、交通空白地帯を埋めるためのものです。政策的に南古谷ともアクセスできる環境を考える場合、既存のバス会社や越戸バスなどとの連携も考えられます。今の段階では、すぐには実効性のあるものとして答えられませんが、課題の1つとして頭の中に入れておきます。

参加者 ふじみん号の利用料金は 200 円で、民間のバス料金と変わりません。高齢者に対して半額にしたり、高齢者パス等を作ったりしていただければと思います。

市長 ふじみん号については、様々な意見をいただいています。ある意見では、料金は高くても利便性を向上してほしいとの意見やうちの方でも走れるようにしてほしいとの意見もあります。経費も路線を増やしたので、年間 8 千万円以上もかかっています。全体としての最大最適を目指していかなければなりませんので、ご要望も含めて総体的に考えてまいります。関連する話として、公民館使用料の減免をなくし、いくらかでも負担していただくことにしました。今後の人口減少を考えた場合、少ない人口で維持していかなければならないので、わずかで

も受益者負担をしていただき、全体として使う人も使わない人も負担感を感じないでいられるのが重要だと考えています。要望は受け取りましたので、今後の公共交通活性化協議会での課題の1つとしてまいります。

参加者 11月に上福岡駅前の西友が閉店するという話を聞きました。駅に近く、広い敷地があります。民間のことだが、市の関わりはありますか。

市長 把握していません。分かっていたとしても、あくまでも民間事業ですので、事業者の個人情報や営業利益に関わることは、話すことはできません。

参加者 信号機に民地の枝がかかっている見にくくなっています。2週間前に市に要望しましたが、市では所有者にお願いしたがまだ切ってもらえていないとのことでした。信号機が見えなくなっても公安委員会は感知しないのでしょうか。

市長 民地の木については当然ながら我々で切ることができません。所有者に切っていただくのが法的な決まりとなっていますので、繰り返しお願いしてまいります。今後どうなるか、また信号機が見えなくなっていると安全性も重視しなければならないので、併せて確認します。

参加者 イオンタウンの隣の郵便局の前に信号機は付けられないのでしょうか。

市長 信号機設置の要望は東入間警察署と公安委員会にはお願いしています。様々な場所に信号機の設置要望をしていますが、2市1町管内で1年間に1カ所できるかどうかのところですか。市内で要望しているのは30箇所くらいで、なかなかできないのが現状です。

参加者 高齢の方から不在者投票へ行くことができないとの話を聞きます。外出できない方のために、身近で不在者投票ができる仕組みができればありがたいと思います。

市長 今年は衆議院議員選挙の選挙区の見直しがあり、今まで旧上福岡は第

7選挙区、旧大井町は第8選挙区だったのが、ふじみ野市全体が第8選挙区となります。今までは選挙区が分かっていたため、場所によっては遠くの投票所に行かなければなりませんでした。そのため、少し近くなる所も出てきます。投票所まで出向くことができない方のご提案について、昨今は期日前投票が増えています。投票所あり方や投票方法は公職選挙法で決められていますが、高齢化社会を迎えていくのであれば見直しが必要なのではないかと思います。全国市長会などの様々な場面で、私の地元のタウンミーティングではこんなお話があると伝えていきたいと思っています。

#### タウンミーティング後に追加された意見

参加者 福岡新田自治会では、防災拠点が3つあり、大きな負担がかかっています。福岡新田集会所の防災倉庫は、他の自治会が新しい倉庫を作る際に古いものを譲ってもらいました。防災拠点が複数ある自治会には補助金を増額してもらえないでしょうか。

さぎの森小学校区にある稲荷神社内の防災倉庫が古くなっています。防災倉庫の建て替えをお願いします。

(担当課) 令和6年度の施行に向けて、「ふじみ野市自主防災組織補助金交付要綱」の改正を検討しています。現在、防災倉庫につきましては、同要綱において補助が可能となっておりますが、地域により設置基数が様々な状況であると認識しています。

補助金交付要綱の見直しに当たり、防災倉庫については各種防災資機材を管理する上でも重要な施設であることから、地域の実情に合わせられるよう見直しを検討してまいります。